

「NSG 安全計画 2023+2」

～ 2025年度目標の達成に向けて ～

2021年4月

はじめに

2019年4月より「NSG安全計画2023」がスタートしましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、私たちを取り巻く環境が一変しました。この変化に対応するため、「**ヒトを起点**」として安全・安定輸送のレベルアップを着実に進めていくための新たな取組みを「NSG安全計画2023」に追加し、2025年度まで延長した「**NSG安全計画2023+2**」を策定しました。

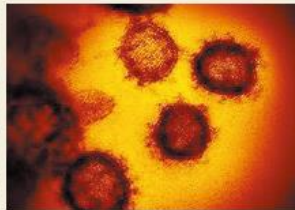
新たに追加する取組み（具体的な実施事項）

業務プロセスの見直し

安全安定輸送に貢献するため、業務プロセスの見直しによって、環境変化に対応したBCP（事業継続計画）の構築と定着に取り組む



- **コロナによる環境変化に対応した安全指導を実施**
- **社員を守り検測業務を継続するためのヒト起点のBCPを構築**
 - ・事業継続計画基本規程改正、事業継続計画標準改正、事業継続計画標準（大規模感染症）の制定
 - ・検測業務を継続する体制づくり
 - ・確実な安否確認方法策定



大規模地震以外に新型コロナに対応したBCPが必要 ⇒ 「ヒトを起点」にBCPを構築 ⇒ 検測業務を継続

計画的な安全投資

投資を計画的に行うことにより、設備を充実させ、技術力の向上と事故防止に取り組む



- **探傷車及び検測装置とそのシステムの更新計画のブラッシュアップを実施**
 - ・軌陸探傷車（2022年5月更新）
 - ・N-RIC（SMART-iタイプB：2023年度初導入）
- **安全と計測技術の向上を目指して、千寿工房（通称：千寿デポ JRTC Senju Depot）の訓練設備を充実**



軌陸探傷車更新
(ベース車：いすゞ10t車)



N-RIC更新（イメージ）



千寿工房（2021年4月開所）



安全に関する業務改善の取組み

監査部と安全推進部が合同で「安全業務レビュー」の実施



- **四半期毎にテーマを決めて各事業部、各支店社員と意見交換を実施**
 - ・意見交換を踏まえて「ルールや安全教育の見直し」「安全設備の改良」を検討



◀ ざくばらんな意見交換を通して、ルールや安全教育の見直し、安全設備の改良を検討



株式会社 日本線路技術
Japan Railway Track Consultants Co., Ltd.

2025年に向けて（2025年の夢）

「ヒト起点」
BCP(事業継続計画)の
定着



- 検測業務を継続する体制の定着
- 安否確認の確実な実施

システムや機器更新の
推進により、安全・
品質レベルがさらに向上



- 設備投資によるハード対策の推進
- 装置の自動化や省略化を検討しヒューマンエラーの防止を図る

2025年度
事故事象の目標件数



- 重大事故：ゼロ
- 重大事故につながる取扱い誤りや機器故障等：0件に完封
- 重大事故に至らない取扱い誤りや機器故障等：5件

(2024年度：6件、2025年度5件)

※ 「NSG安全計画2023」の2023年度目標は7件



検測業務、モニタリング業務、調査・計測業務のさらなる安全レベルの向上の実現を目指す

ロードマップ

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
重大事故	0件	ゼロ	ゼロ	ゼロ	ゼロ	ゼロ
重大事故につながる取扱い誤りや機器故障等	6件	0件に完封	0件に完封	0件に完封	0件に完封	0件に完封
重大事故に至らない取扱い誤りや機器故障等	17件	9件	8件	7件	6件	5件
BCP(事業計画)見直し		○… 基本規程改正(2021.4)				
		○… 事業継続計画標準(大規模感染症)制定(2021.4)				
		○… 事業継続計画標準改正(2021.7)				
安全業務レビューの実施(四半期毎)	○	○	○	○	○	○
軌陸式レール探傷車更新	→ 製作中 →		○… 2022年5月導入予定			
N-RIC更新(SMART-iタイプB)	→ 仕様協議中 →			○… 2023年度初導入予定		